

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成26年度 第8回理事会 議事録

日 時: 平成26年11月12日(水) 13:00~15:40

場 所: JBAオフィス 8F会議室

出 席: <理事>

丸尾充、梅野哲雄、西川和人の各副会長、星芳樹専務理事、青木隆、河内敏光、岸本和巳、熊谷秀樹、倉石平、小坂悦夫、佐々木三男、鮫島俊秀、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、塚田博己、西井歳晴、野村俊郎、橋本信雄、原田茂、林直樹、福井晴次、堀井幹也、森野和泰、吉田長寿の各理事

<監事>

榊原みどり、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

小倉恭志、片山正明、坂本昌彦の各特任委員

欠 席: 吉田利治理事、内山英司特任委員

オブザーバー: 金井克仁弁護士、山見博康裁定委員会委員長(第1号議案のみ)、松本泰介裁定委員会委員(同)

議 題

- (1) 「前橋育英高校」に関する裁定委員会の答申について
- (2) 報奨金の授与について
- (3) 平成26年度功労表彰について
- (4) 用具・器具の認定について
- (5) 臨時評議員会の開催について
- (6) 大会要項について
- (7) 女子U-16日本代表チームについて
- (8) 常務理事会の構成について

1. 定足数の報告

塚田理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(26名)の過半数の出席数(出席:25名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

丸尾副会長(会長職務代行)より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は丸尾副会長(会長職務代行)が務めた。

(1) 「前橋育英高校」に関する裁定委員会の答申について（塚田理事）

前橋育英高校男子バスケットボール部の部員による同部員に対する暴力行為で傷害を負わせた件について、裁定委員会による調査および審議の結果、次の通り答申があった。

審議対象者の部員は行為の結果が認識できる年齢にあったこと、学校からの謹慎処分を科されていること等から、「戒告」とすること。同じく審議対象者のバスケットボール部については、本行為は文部科学省が定めた「いじめ」の定義に該当する行為であること、同様の行為が数年前より長期的に行われており部全体の問題であること等から、「3ヶ月の公式試合への出場資格の停止。但し、当時在籍していなかった1年生のみで構成されるチームについては公式試合への出場を認める」とする。

これについて審議を行い、裁定委員会からの答申通り処分を科すことが承認された。

<承認>

(2) 報奨金の授与について（星専務理事）

第22回FIBA ASIA U-18女子選手権大会で準優勝し、U-19世界選手権の出場権を獲得した女子U-18日本代表チームについて、報奨金規程に基づき、報奨金を授与すること、また、規程対象外のスタッフについても同様に授与することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(3) 平成26年度功労表彰について（塚田理事）

平成26年度の功労表彰候補者が推薦され、原案通り13名（JBA推薦3名、各団体からの推薦10名）を表彰対象とすることが承認された。

<承認>

(4) 用具・器具の認定について（塚田理事）

株式会社モルテンより申請のあった新モデルの6号球と7号球について、検定の結果、基準を満たしていることが報告され、検定球として認定することが承認された。

<承認>

(5) 臨時評議員会の開催について（塚田理事）

会長候補者の選定に関する決議およびFIBAからの制裁についての報告を目的として臨時評議員会を開催すること、尚、会長候補者選定委員会の進捗状況等を考慮して、日時は常務理事会に一任とすることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(6) 大会要項について（庄司理事）

「第47回全日本実業団選手権大会」の大会要項が提案された。続いて、10月の理事会にて承認された「第70回国民体育大会（平成27年・和歌山国体）」の大会要項について、日体協と調整中であった項目の更新内容が提案され、いずれも、原案通り承認された。

<承認>

(7) 女子U-16日本代表チームについて（高橋理事）

2015年度に開催されるFIBA ASIA U-16女子選手権大会に向けた女子U-16日本代表チームのスタッフ6名および候補選手17名が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) 常務理事会の構成について（星専務理事）

幅広く意見を集約し、常務理事会の充実を図ることを目的として、常務理事会メンバーに高橋理事(女子強化部長)、橋本理事(国際部長)、森野理事(ブロック代表理事)、野村理事(ブロック代表理事)を加えることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（塚田理事）

2014年10月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（塚田理事）

12月10日に臨時理事会を開催すること、9月末までの予算執行状況は特に大きな問題はないものの、臨時理事会、評議員会の開催等で追加支出が見込まれること、今年度のチーム加盟数・競技者登録数について、競技者登録数は62万強となり、個人登録制度導入以降、最多人数となったことが報告された。

(3) 競技会委員会（庄司理事）

平成27年度の競技日程の一部変更、全日本大学選手権大会(インカレ)の大会要項、競技日程に一部変更があったこと、その他国内および国際大会の結果等が報告された。

また、オールジャパンおよびウインターカップの各実行委員会の準備状況、修正予算が報告された。

(4) 男子強化戦略委員会（堀井理事）

アンダーカテゴリーのヘッドコーチ(専任コーチ)の公募を行うことおよびその概要が報告された。

(5) 男子代表チーム委員会（堀井理事）

男子日本代表・長谷川ヘッドコーチによる今年度の男子日本代表の報告書が提出された。また、12月下旬に実施する男子U-16日本代表チームのドイツ・チェコ遠征のメンバーおよびスケジュールが報告された。

(6) 女子代表チーム委員会（高橋理事）

第17回FIBA女子世界選手権大会および第17回アジア競技大会に関する内海、一色両女子日本代表ヘッドコーチからの報告書および第22回FIBA ASIA U-18女子選手権大会の報告書が提出された。

(7) エンデバー委員会（佐々木理事）

ブロック別都道府県エンデバー担当者会議の開催、ジュニアエリートアカデミーの日程および参加選手等が報告された。

(8) 指導者育成委員会 (倉石理事)

2015年度から実施するコーチライセンス義務付けの適応大会とレベルの現状、12月26日に全国指導者育成委員長会議を行うこと等が報告された。

(9) 国体委員会 (野村理事)

10月18日～22日に開催された長崎国体、第75回国体(鹿児島)の視察内容等が報告された。

5. その他

11月5日に行った会長候補者選定委員会の概要が丸尾副会長から報告され、次期会長の選定についての進め方や時期、また、統一プロリーグに関する今後の進め方等について議論があった。

次期会長の選定については、予定通り第2回の会長候補者選定委員会を行って引き続き協議を進めること、また、FIBAに提出した回答書に関するFIBAからの返答はまだ届いていないものの、制裁が科されることも想定してその対策は継続して進めていくことが確認された。

以上